

あ と が き

本校では、令和元年・2年度、日高市教育委員会・日高市教育研究会の委嘱を受け、自ら進んでコミュニケーションを図ろうとする児童を育てるため、外国語を通して「生きて働く知識・技能を身に付けさせる授業づくり」をテーマに取り組んでまいりました。児童の実態をつぶさにとらえ、「高根の子たちが将来生きていく社会に必要な力は何か、どうしたら育てられるのか」と全職員で試行錯誤しながら取り組んできました。

外国語授業における醍醐味は、対話によるコミュニケーションですが、令和2年度は新型コロナウイルスの広がりによって、授業づくりの難しさに直面しました。ウイルス感染防止のため、児童の力を育てることに加え、「どうしたら安心・安全な授業づくりができるか」を考える必要が出てきました。

このような状況下でも、児童は学び続け、「間違いや表現方法に不安を感じ、自分の思いを伝えることに自信がもてない」という実態が、少しずつ変容しています。「先生、これは英語で何と言いますか」と前向きに学ぼうとする姿、外国語の授業に限らず、「違うかもしれないけれどこうかな、自分はこう思った」と考えを言おうとする姿が見られるようになりました。コミュニケーションを図ろうとする児童が育っていった2年間でした。

「児童が安心して取り組む授業」のために、高根スタイルの共通理解をもって「生きて働く知識・技能」の育成に当たれるよう、今後も職員が一丸となって取り組んでまいります。

研究を支えてくださった多くの皆様方に心より厚く御礼を申し上げます。

ご指導をいただいた先生方

日高市教育委員会教育長	中村 一夫 先生
日高市教育委員会教育部参事	秋馬 信之 先生
日高市立教育センター所長兼主任指導主事	利根川典正 先生
日高市教育委員会学校教育課指導主事	下ノ坊 圭 先生
日高市立教育センター指導主事	藤田 剛典 先生
日高市立教育センター指導主事	澤田 秀一 先生
日高市立教育センター教育指導幹	新井 健一 先生
東京家政大学教授	太田 洋 先生

研究に携わった教職員 (敬称略)

令和2年度

吉原 敦子	原 政幸	有山 和宏	渡邊 健司	梅田 悦子	秋馬 里菜	山田奈央子
松本 亜矢	松岡 陽子	藤野由里子	鹿山 泰	齋藤 大晃	村上 清美	宮越 正樹
田邊 敦子	山内 透	田中美智代	山畑 由佳	大野 直樹	富田恵美奈	中村 定夫
眞神 杏菜	小川比呂美	細野 啓子	金指恵理子	兼田 昌子	武野谷敏子	岡村 莉沙
加藤美智子	寒河江美智子	ダイアン	サーミエント			

令和元年度

板橋 英生	金子 瑞菜	杉浦 宗久	森本 瑛美	藤縄百合子	川北 洋	早川 直実
津澤 秀樹	有我かおり	本田 陽子	新井 益美	松村 美香		